

ねりま 地域活動ニュース

発行：練馬区立区民協働交流センター

vol.114

練馬区の
地域活動団体などを
毎月紹介しています!



今月の紹介団体 ****



2面

大泉子育てのひろば「わとと」
杉沼 幸江(すぎぬま さちえ)さん



3面

一般社団法人 GainEXP
(ゲインエクスぺリエンス)
古賀 公一(こが こういち)さん



練馬つながるフェスタ in 練馬 参加団体を募集します!



ワークショップ



体験コーナー



物販

「練馬つながるフェスタ(つなフェス)」は、町会・自治会、NPOやボランティア団体など地域で活動している皆様の取り組みを「見て!聞いて!知って!」たくさんの仲間と“つながる”ことができるイベントです。ワークショップ、体験コーナー、物品販売等の参加団体を募集します。詳細は練馬区公式ホームページをご覧ください。

詳細はこちら→

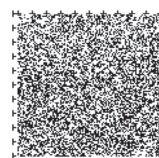


令和9年
3月6日(土) 12時~15時30分
ココネリ3階(練馬1-17-1)

応募締切日

令和8年
11月15日(日)まで

専用アプリのUni-Voiceを使用して右のコードを読み取ると記事の情報を音声で読み上げます。



音声コード

ほっとできるアットホームな子育て広場

大泉子育てのひろば「わとと」



施設長の杉沼幸江さん(右)と
スタッフの関麻子さん(左)

大泉学園町にある「わとと」は、3歳までの子どもと保護者を対象とした子育て広場です。開設は2014年。アットホームな雰囲気になって長年通い続けるファンも多く、第一子が3歳になって卒業した後、第二子が生まれて「ただいま!」と戻ってくる親子もいるそうです。

プレイスペースでは、親子で遊んだり、ママ同士で情報交換

をしたりと自由に過ごすことができます。他にも、みんなで持参したランチを食べる「パクパクデー」や、スタッフによる絵本の読み聞かせなどのほか、

さまざまなイベントや講習会が行われています。中でも募集をかけると数日で枠が埋まってしまふほど特に人気なのが、預かり担当とリフレッシュ担当に分かれ、子どもを預け合う「なかまほいく」。リフレッシュ担当になったママは子どもと離れて別室で手芸やおしゃべりなどを楽しみます。



「わとと」はスワヒリ語で「子どもたち」を意味します。アフリカの絵画や置物が飾られ、心を和ませていきます

そうです。

「建物が古いせいか『田舎のおばあちゃんに來たみたい』とよく言われま

す(笑)。気軽に遊びに来てください」と杉沼さん。

2026年7月には施設を拡張して、多目的スペースや相談室を新設しました。

「体を動かして遊びたい子も、静かに本を読みたい子も、それぞれが思いきり楽しめる空間にしたいですね。子どもだけでなく、保護者も居心地よく過ごせる場所にしたいと思っています」と施設への思いを語りました。

拡張したスペースで行う新しいイベントも計画中とのこと。子育て中の方は、温かな笑顔で迎えてくれるわととに足を運んでみてはいかがでしょうか。



木のおもちゃや手づくりおもちゃがいっぱいのプレイスペース。
おむつ替えや授乳スペースもあるので安心

「他のお子さんの成長も一緒に感じ、喜び合えるのが魅力です」と施設長の杉沼さんは話します。

また、通常は休館日である土曜日に特別開室する「サタデーわとと」は、平日になかなか子

■ 大泉子育てのひろば「わとと」

代表理事：坂本 純子

住所：練馬区大泉学園町

7-13-17

TEL：03-5935-7453



HP

地域活動団体助成金等情報

助成内容や応募条件などは各助成金によって異なりますので、必ず事前に詳細を確認してください。募集要項・申請書類については、各ホームページからダウンロードしてください。

■ 公益財団法人 ヤマト福祉財団「障がい者福祉助成金」

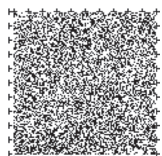
【助成対象】福祉事業所に限らず、ボランティア団体、サークル等幅広い団体が行う、障がいのある方の幸せにつながる事業・活動 ①会議・講演会 ②ボランティア活動 ③スポーツ活動・文化活動 ④調査・研究・出版

【助成金額】1件あたりの上限額：100万円

【応募期限】2026年11月30日

【関連 URL】<https://www.yamato-fukushi.jp/works/subsidy.html>

【問い合わせ】公益財団法人 ヤマト福祉財団 助成金事務局 〒104-8125 中央区銀座 2-16-10 TEL：03-3248-0691 FAX：03-3542-5165



音声コード

■ 一般財団法人 あすたむ舎

「障がい者支援団体への活動に対する支援事業」

【助成対象】①芸術・文化活動に係る活動費(音楽会、展覧会等) ②スポーツ等心身の向上を図るための活動費 ③地域住民と共に実施する活動費 ④その他上記(①から③)に準ずる活動費

【助成金額】1団体あたりの上限額：30万円

【応募期限】2026年11月30日

【関連 URL】<https://www.ustamsha.or.jp/grant/>

【問い合わせ】一般財団法人 あすたむ舎 事務局

〒816-0904 福岡県大野城市大池1-2-12

TEL：092-503-2919 FAX：092-503-2920

E-mail：info@ustamsha.or.jp

体験を通して考える力を育む移動型サードプレイス

一般社団法人 GainEXP (ゲインエクスペリエンス)



代表の古賀公一さん

主に小学生を対象に、趣向を凝らしたさまざまな体験学習を提供しているのが「GainEXP(ゲインエクスペリエンス)」です。

長年にわたり、IT・アミューズメント業界で働いてきた代表の



大泉学園にある「そらいろのいえ」で開催したUFOキャッチャー(クレーンゲーム機)イベント。好評のため、2回目も計画中!

古賀さんは、仕事で接する若者たちの“自ら考えて行動する力”が低下していると感じるようになりました。

「それは、デジタルデバイスの普及や公園などの遊び場の減少で、体験の機会を減らしている大人に責任があると思ったんです」と話します。

その問題意識から「子どもに体験させる場を作りたい」と考え、2024年11月、団体を設立しました。拠点を持たない移動型で、練馬区内の不登校の居場所やフリースクール、児童館などを会場に、プログラミング教室、AI教室、アナログゲーム教室などを開催しています。

「移動型のメリットは、地域に縛られず、多くの子どもたちに参加してもらえること。また、場所が変わることで新しい刺激や人間関係も生まれます」と古賀さんは言います。

また、クレーンゲーム機の教育的側面にも着目。昨年11月には、



フリースクールでのAI教室。これからの時代に必須となるAIとの付き合い方を勉強します

子どもたちがクレーンゲーム機をプロデュースし、アームの設定や景品の配置などを考えるイベントを実施しました。普段触れることがないクレーンゲームの中身に子どもたちは興味津々だったそうです。

「景品をたくさん取らせすぎないようにしたいけど、全く取れないとお客さんはがっかりしてしまう。遊びの中で考える力や社会の仕組みを体験することができるんです」と古賀さん。

来てくれた子どもたちがいつでも安心できる場所を作っていくことが古賀さんの願いです。

「行政によるさまざまな支援が増えていますが、そこからこぼれ落ちてしまう子どもが1人も出ないようにサポートしていきたい」と語ります。

今後は、新たに中高生向けの居場所も計画中的とのこと。移動型サードプレイスの活動に今後も目が離せません。

■ 一般社団法人 GainEXP

代表：古賀 公一

メール：info-desk@gainexp.org



Instagram

■ CO・OP 共済 地域ささえあい助成「協働はじめる助成」

【助成対象】日本国内において、地域共生社会の実現に向け、生協と生協以外の多様な団体が協働して取り組む、以下のいずれかの実践的な活動

- ① 社会課題や地域課題の解決に向けた、地域における活動
- ② 暮らしに身近な課題やまだ広く知られていない課題の解決に向けた、地域における活動
- ③ 人と人や組織と組織をつなげ、取り組みを発展させていくための活動
- ④ 災害復興や災害へ平時から備えるための活動

【助成金額】1件あたりの上限額：50万円

【応募期限】2026年11月13日

【関連 URL】<https://coopkyosai.coop/csr/socialwelfare/>

【問い合わせ】日本コープ共済生活協同組合連合会(コープ共済連)組合員参加推進部 地域ささえあい助成事務局

TEL：03-6836-1324 E-mail：contribution@coopkyosai.coop

■ ファミリーマート&むすびえ

「こども食堂スタート応援助成プログラム」

【助成対象】2026年12月1日から2027年3月31日の期間中に「1回目のこども食堂」を開催する団体

【助成金額】1団体あたりの上限額：5万円

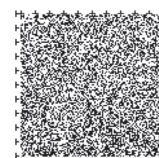
【応募期限】2026年12月28日

【関連 URL】<https://musubie.org/grant-list/close/30126>

【問い合わせ】認定NPO法人全国こども食堂支援センター・むすびえ「2026年ファミリーマート&むすびえこども食堂スタート応援助成プログラム」

Email: kaisetsu_ouen@musubie.org

※件名に「2026年度こども食堂スタート応援助成プログラムについて」と記載すること



地域活動スキルアップ講座の受講生を募集します

地域活動につながるスキルアップを目的とした講座です。区内在住・在勤・在学の方、区内での地域活動を考えている方はどなたでもご参加いただけます。



【定員】50名(先着順)

【申込み】①講座名 ②氏名 ③電話 ④住所 ⑤メールアドレスを、11月9日(月)までにポータルサイト・電話・メールで協働推進課カレッジ担当係へ

「地域活動のためのチラシ・コンテンツ作成入門講座」

【日時】11月13日(金) 10時～12時

【内容】地域活動の魅力を伝えるために欠かせないチラシづくり。「チラシを作ったのに効果が感じられない」と思った経験はありませんか？ チラシに載せる構成や見せ方のコツを知れば、「伝わる」チラシが作れるようになります。
※パソコンやスマートフォンを使った操作は行いません。

【講師】山本 和泉 氏(ウェブデザイナー)

※より詳しい内容についてはポータルサイト
(<https://www.collegenerima.jp>) もご覧ください。



【問い合わせ】地域文化部協働推進課カレッジ担当係
TEL : 03-5984-1613
E-mail : kyodosuishin04@city.nerima.tokyo.jp

つながるカレッジねりま

公開講座の聴講生を募集します

つながるカレッジねりまは、地域で活動を始めたいと思う人が集い、学びやスキルアップ、地域とのつながりができる場です。カリキュラムの中から、次の講座を公開します。参加方法は、対面とオンラインを選べます。



【定員】50名(先着順)

【申込み】①講座名 ②参加方法 ③氏名 ④電話 ⑤住所 ⑥メールアドレスを、11月13日(金)までにポータルサイト・電話・メールで協働推進課カレッジ担当係へ

「地域活動の実践と展開」

【日時】11月21日(土) 9時30分～11時30分

【内容】区内のNPO法人にも参画している講師とともに、自身の「好きなこと」「得意なこと」を手掛かりに地域の魅力を広げる活動について考えます。

【講師】齋藤 博 氏(東洋大学福祉社会デザイン学部准教授)

※より詳しい内容についてはポータルサイト
(<https://www.collegenerima.jp>) もご覧ください。



【問い合わせ】地域文化部協働推進課カレッジ担当係
TEL : 03-5984-1613
E-mail : kyodosuishin04@city.nerima.tokyo.jp

練馬区立区民協働交流センター(つながる窓口)

区民協働交流センター(つながる窓口)では、町会・自治会、NPO、ボランティア団体などの活動に関する相談を随時受け付けています。どうぞお気軽にご利用ください。

練馬 1-17-1 ココネリ3階 TEL:03-6757-2025 年中無休 9時～22時(12/29～1/3は休業)
事業の実施等により開館時間が変更となる場合があります。

【事前予約が必要な相談内容】

- ① NPO法人の立ち上げ、運営等に関すること
- ② 会計・税務に関すること
専門の相談員や税理士が対応しますので、事前に電話でのご予約をお願いします。



facebook



<https://www.facebook.com/Nerimakkyodokoryucenter/>

練馬区立区民協働交流センター フェイスブック 検索



X(旧twitter)



https://twitter.com/kyodo_nerima

練馬区立区民協働交流センター エックス 検索

ホームページ

※過去の地域活動ニュースも掲載中
<http://www.nerima-kyodo.com/>



練馬区立区民協働交流センター

検索

★音声でお読みいただけます

「ねりま地域活動ニュース」は音声で伝える「視覚障害者用」録音版を貸し出しています。ご希望の方は一步の会にお申し込みください。

NPO法人点訳・音声訳集団一步の会 練馬区高松 2-16-12 TEL : 03-3577-5666